

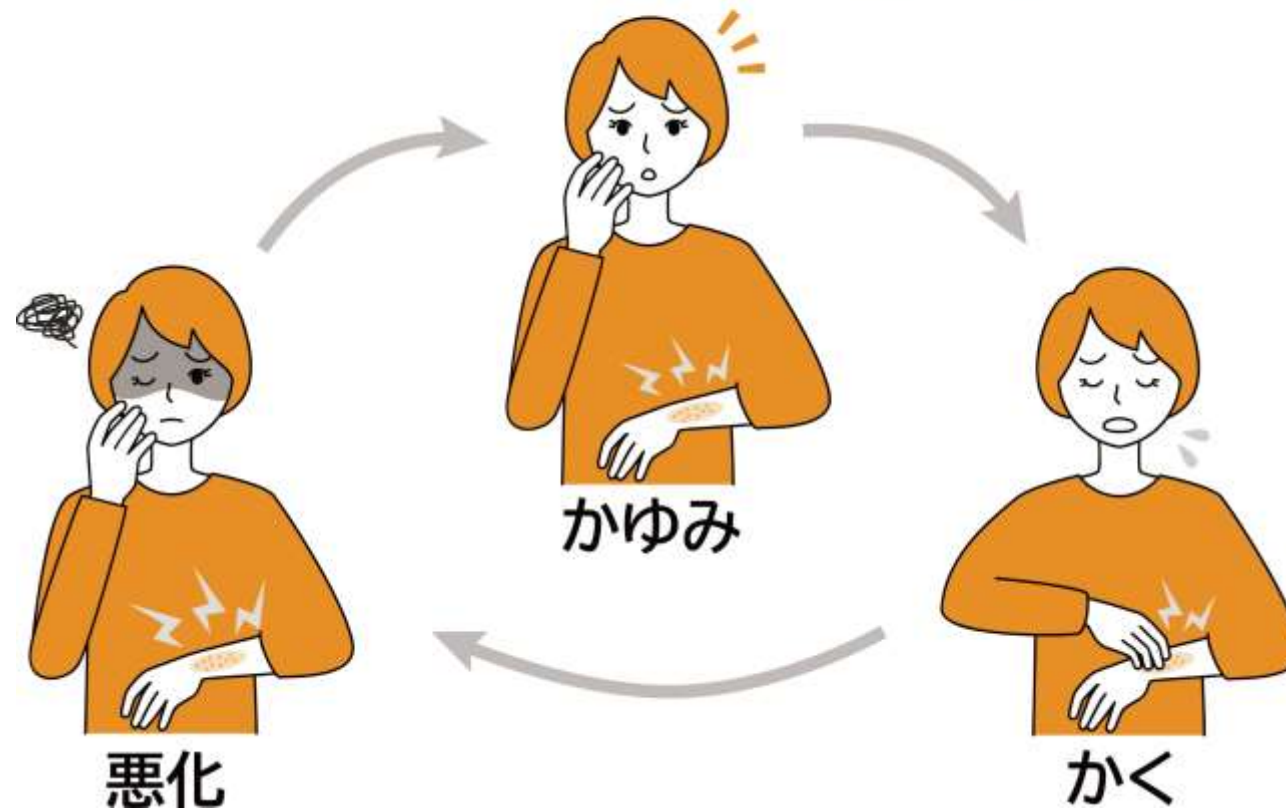
① 肝臓がわるいと何故かゆくなるのでしょうか？

② 肝疾患がある方に対するかゆみの治療法について

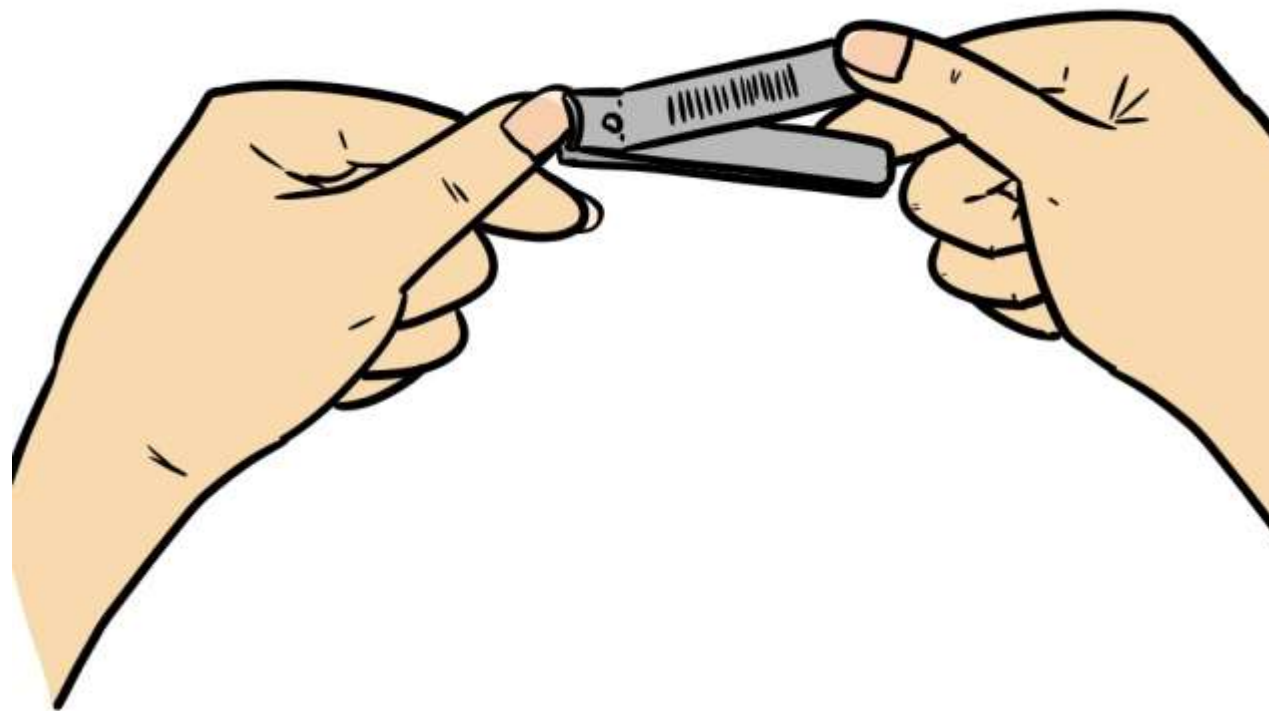
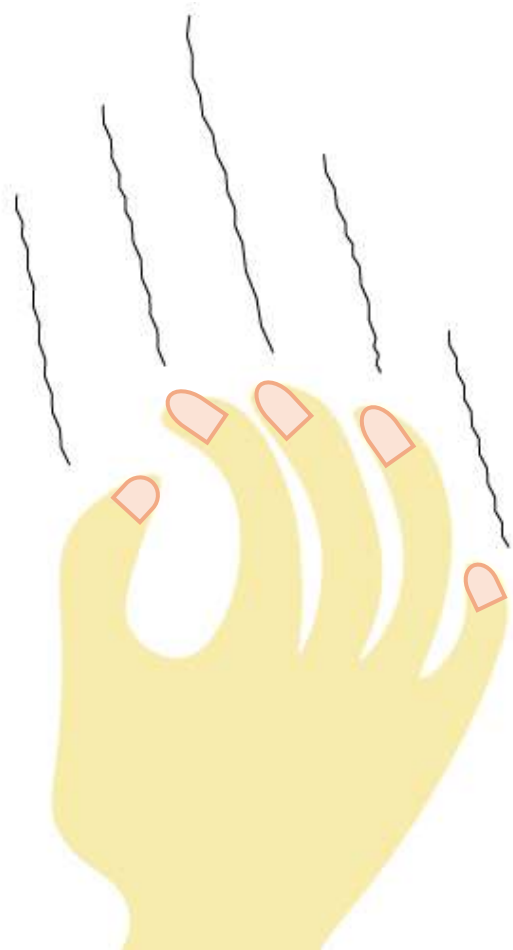
③ 抗ヒスタミン剤やステロイド軟膏の使い方、日常生活の注意

肝疾患のかゆみが出ると、掻くことにより皮膚病変が出現して、その部位がかゆくなるという悪循環が生じます。

## かゆみの悪循環

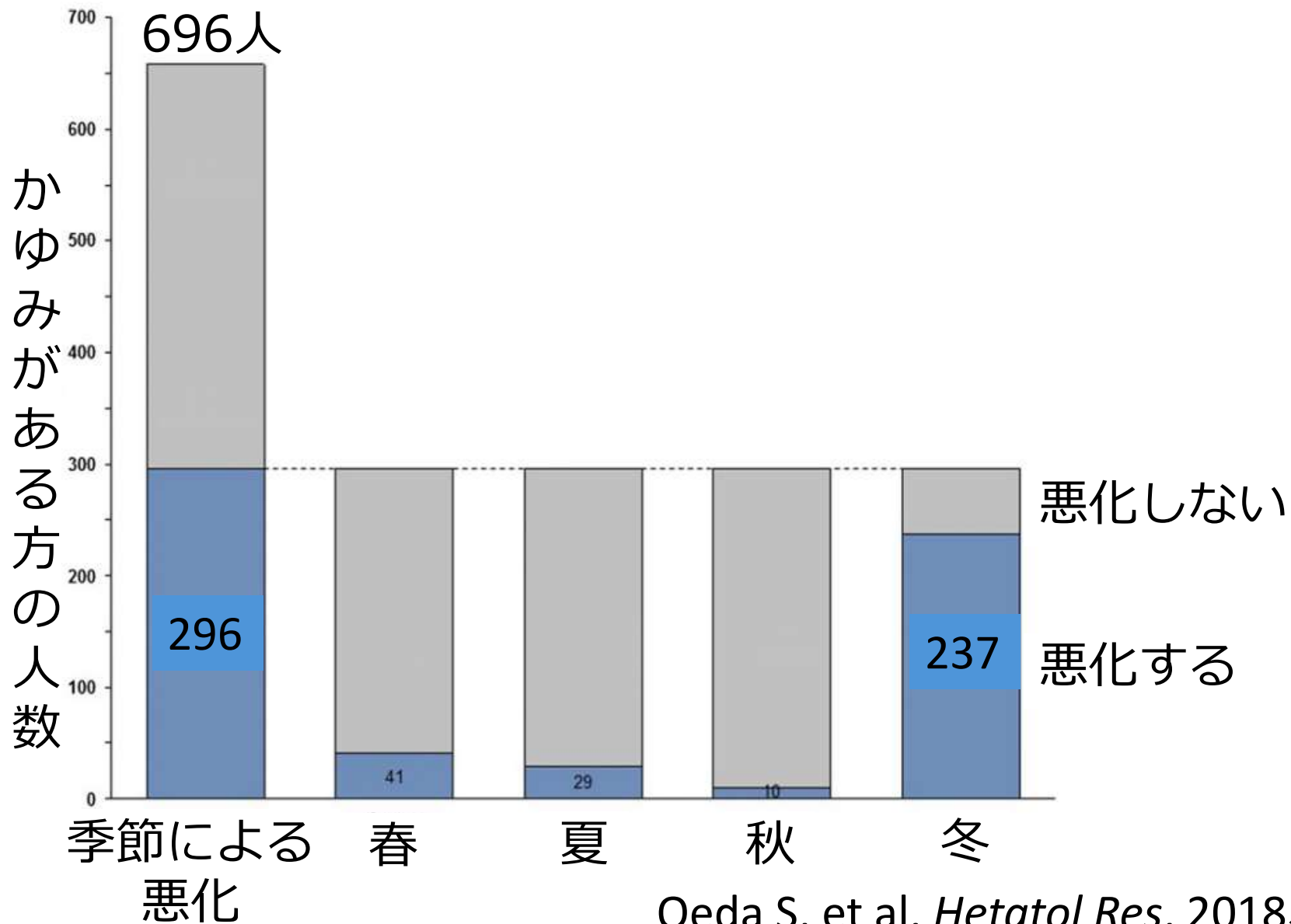


掻いたときの皮膚のダメージを減らすために、爪を切ることが大切です。



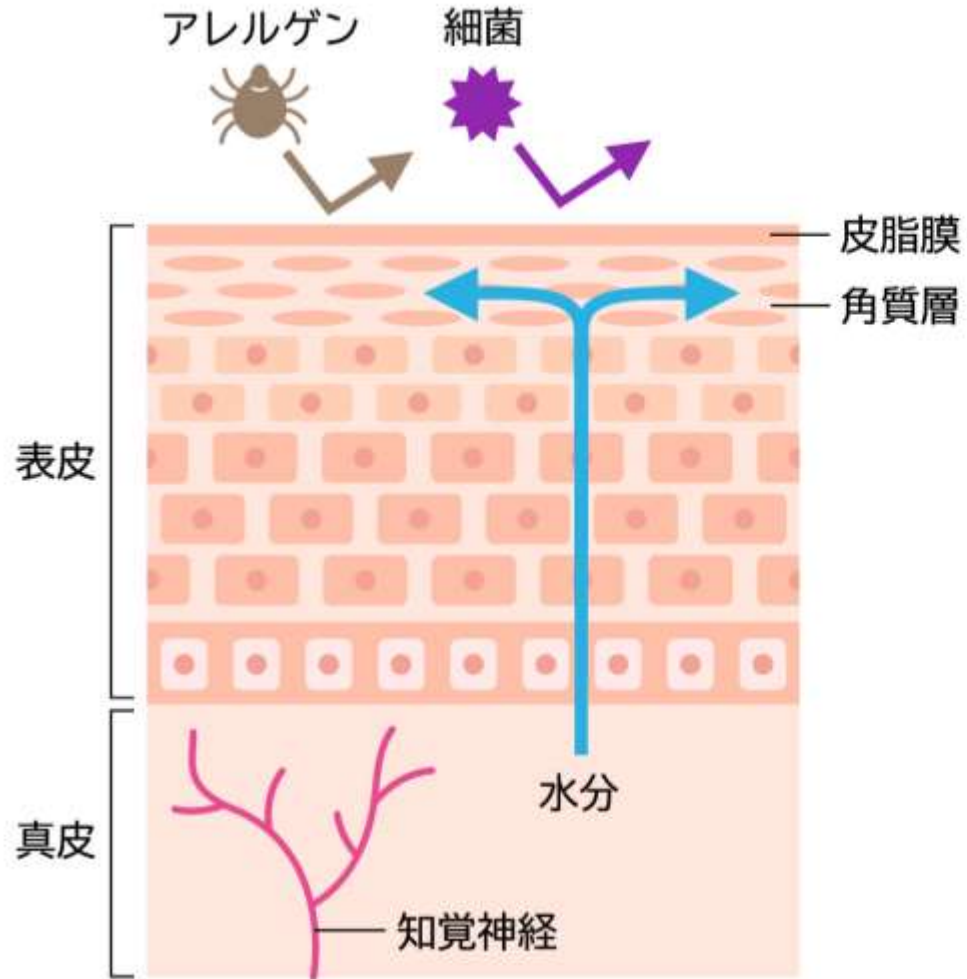
フリー素材

慢性肝疾患をもつ方の かゆみは冬に悪くなることが多いです。

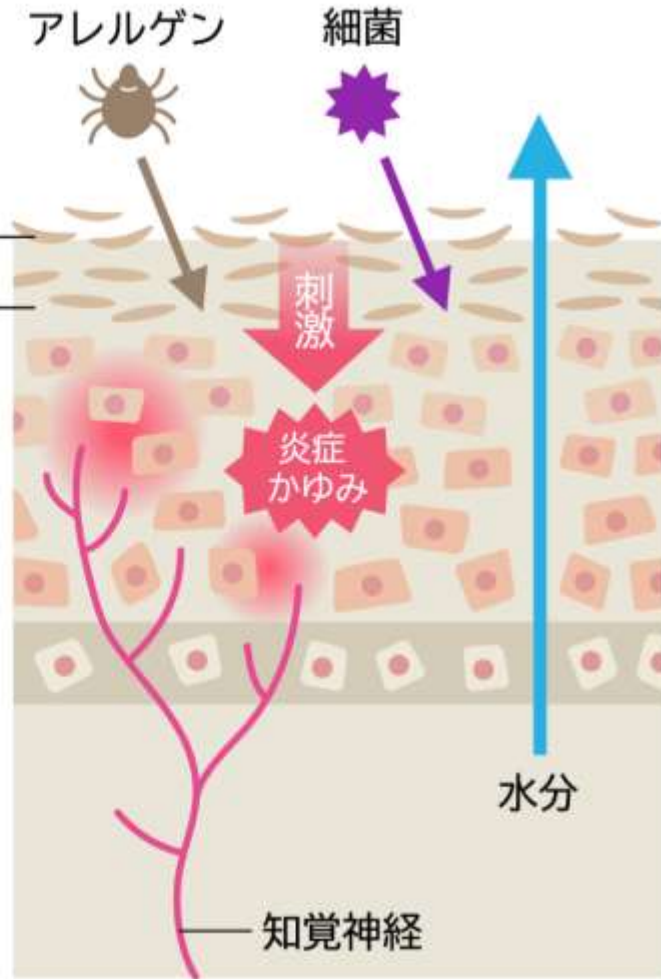


冬の乾燥した皮膚では、バリア機能が低下し皮膚炎が起こりやすくなります。

### 健康な皮膚



### バリア機能が低下した皮膚（アトピー性皮膚炎）



フリー素材

## 肝疾患のかゆみの治療：二次性変化が生じた場合

肝疾患のかゆみは、初期の段階では皮膚に変化はありませんが、慢性的に掻いていけば、二次的な皮膚病変が出現して、スキンケアが必要になります。

### 主な治療薬

1. 抗ヒスタミン剤（完全にかゆみをコントロールすることは出来ません）
2. ステロイド外用剤
3. 保湿剤（ヘパリン類似物質クリーム：ヒルドイドソフト®など）

抗ヒスタミン剤には、非鎮静性と鎮静性の薬剤があります。

非鎮静性（眠くなりにくい）	鎮静性（眠くなる）
フェキソフェナジン塩酸塩 （アレグラ®）	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 （ポララミン®）
オロパタジン塩酸塩 （アレロック®）	ケトチフェンフマル酸塩 （ザジテン®）
ベポタスチンベシル酸塩 （タリオン®）	非鎮静性の薬剤を処方することが、 ほとんどですが、かゆくて眠れないときに、 鎮静性の薬剤を用いることがあります。
ビラスチン （ビラノア®）	

佐藤貴浩, 他. 日皮会誌 2012, 一部改変  
・ 薬剤は代表的なものを一部記載

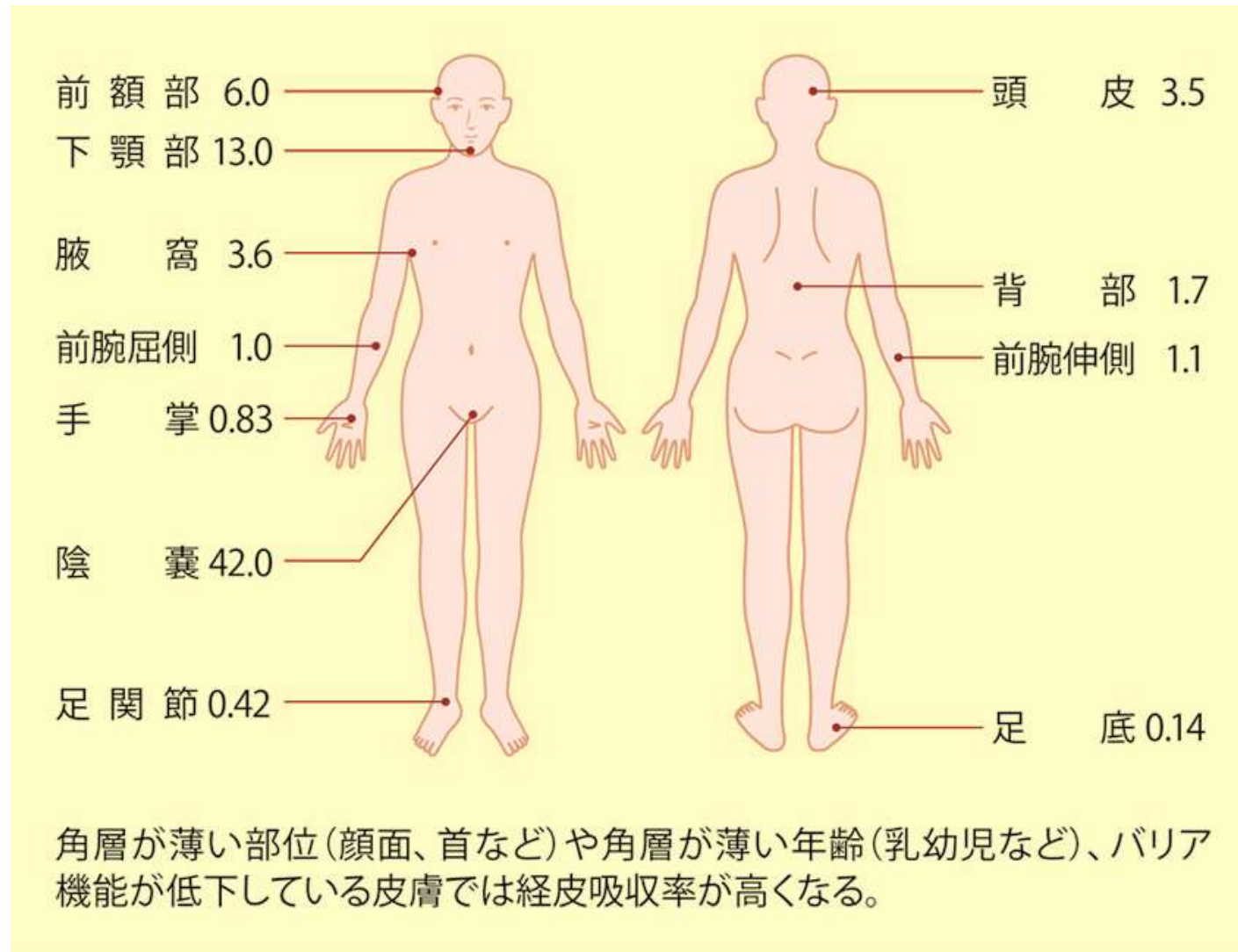
ステロイド外用薬にはランクがあります（主な外用薬のみ抜粋）

外用薬のランク	商品名（薬剤名）
ストロングゲスト （Ⅰ群）	デルモベート®（0.05%クロベタゾールプロピオン酸エステル） ダイアコート®（0.05%ジフロラゾン酢酸エステル）
ベリーストロング （Ⅱ群）	マイザー®（0.05%ジフルプレドナート） アンテベート®（0.05%酪酸プロピオン酸ベタメタゾン） ネリゾナ®（0.1%吉草酸ジフルコルトロン）
ストロング （Ⅲ群）	ボアラ®（0.12%デキサメタゾン吉草酸エステル） リンデロンV®（0.12%ベタメタゾン吉草酸エステル）
メディアム （Ⅳ群）	リドメックス®（0.3%吉草酢酸プレドニゾン） キンダベート®（0.05%クロベタゾン酪酸エステル） ロコイド®（0.1%ヒドロコルチゾン酪酸エステル）
ウィーク （Ⅴ群）	プレドニゾン®（0.5%プレドニゾン）

佐藤貴浩, 他. 日皮会誌 2012, 一部改変  
 ・薬剤は代表的なものを一部記載



# ステロイドの部位別経皮吸収率



Feldmann RJ, et al.: J Invest Dermatol, 48(2), 181-183, 1967より作図

# どれだけぬる？①

フィンガーティップユニット (FTU)、すなわち  
チューブ型の軟膏を指の先端から第1関節まで出した量 = 約0.5gを、  
大人の手掌2枚 (手+指) に相当する面積に外用する。



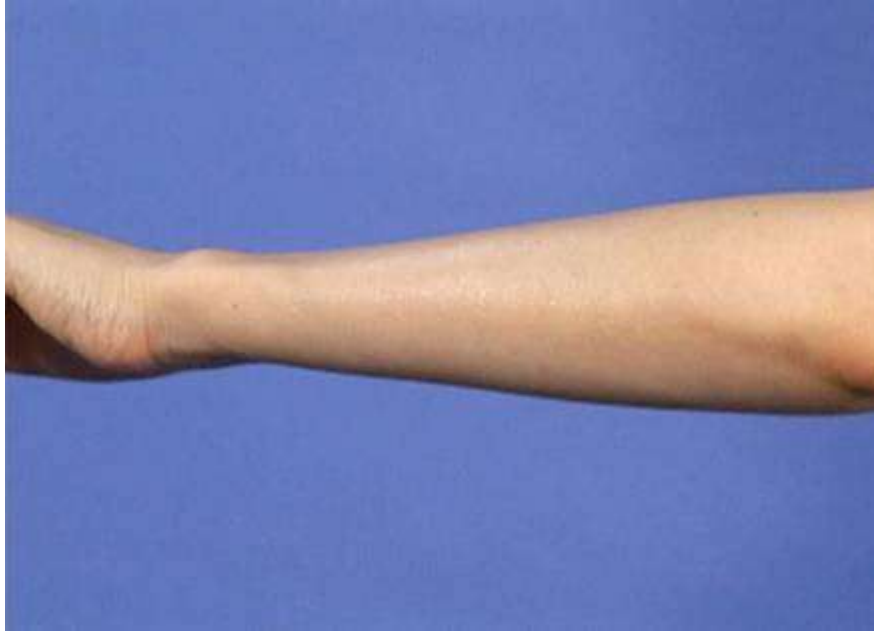
ローション  
= 1円玉大



容器型の軟膏  
= 大豆1個分

- Long, CC, Finlay, AY: .Clin Exp Dermatol 1991
- 安部正敏：たった20項目で学べる外用療法、学研、2014

## どれだけぬる？②



ちょっとべっとり感があって、ティッシュペーパーをくっつけてもそのまま落ちないくらいが適量と言われている。

(もっと少なくてもよいという意見もある。)

五十嵐敦之  
ドクターサロン56巻11月号、2012より引用

## 60歳代、女性（15歳頃にアトピー性皮膚炎） 自験例

- 2週間入院：ジフルプレドナート軟膏+亜鉛華軟膏
- 退院後：ジフルプレドナート軟膏+ヒルドイドソフト™

3年後



※紹介したスライドは臨床症例の一部であり、全ての症例が同様の結果を示すわけではありません。

## ステロイド外用薬の局所的副作用

1. 皮膚萎縮・紫斑
2. 毛細血管拡張
3. ざ瘡（ニキビ）
4. 酒さ様皮膚炎・口囲皮膚炎
5. 皮膚線条
6. 細菌・真菌・ウイルス性皮膚感染症の悪化
7. 多毛
8. 色素脱失
9. 創傷治癒遅延
10. 接触皮膚炎
11. 色素脱失

皮膚線条を除いて、多くは中止あるいは適切な処置により軽快する。

佐伯秀久、他、日皮会誌、2021 一部改変

## これってステロイド外用剤の副作用？

全部  
ウソ！

1. ムーンフェイス（顔が丸くなる）
2. 骨粗鬆症
3. 色素沈着
4. 肌が黒くなる。
5. 皮膚が厚くなる。

誤解  
です。

**ストロングステークラスのステロイド外用薬は  
全身性副作用に注意する必要がある。**

- デルモベート®（クロベタゾールプロピオン酸エステル）10g/日の単純塗布は、  
ベタメタゾン（リンデロン）0.5mg/日の内服に相当。  
⇒プレドニゾン5mg/日内服しているのと同じ。
- デルモベートを半年間4g/日外用してきて副腎機能抑制を来した例がある。

五十嵐敦之、皮膚科治療薬の服薬指導術、メディカルレビュー社、2016.

ストロングステークラスのステロイド外用薬は密封療法（ODT：occlusive dressing technique）を避けるよう記載されている（添付文書参照）



## ご家族に対するメッセージ

- かゆみの中にいろいろな病気が隠れていることがありますので、病院でかゆみの原因をはっきりさせましょう。
- 肝疾患のかゆみは難治ですが、いくつかの治療を組み合わせることで良くなる方もおりますので、前向きに考えましょう。
- 掻くことで生じる二次的な皮膚炎は、治療でよくなります。



## ご家族ができること

- かゆみが痛みと同じくらい辛いことを理解することが大切です。
- 紫外線療法など、頻回の通院が必要な治療もありますが、根気よく付き合ってください。
- 背中など手が届きにくい部位の外用を手伝って下さると、患者さんのかゆみが、少しは楽になります（俗称：背塗り法）。

原点：霊長類は、お互いのスキンケアを大切にしています。

親サルが子供のマダニなどを丁寧に取り除いています（グルーミング）



神庭の滝自然公園（真庭市）ニホンザルの餌付けがみられます。

## まとめ

- ① 肝疾患がある方に対するかゆみは抗ヒスタミン剤が効きにくい。ナルフラフィンの効果が期待されるが、それでも難治である。
- ② 掻くことによって生じる二次性の皮膚病変に対しては、悪循環を防ぐためにステロイド外用剤などを適切に使用する。
- ③ ステロイド軟膏は、局所的副作用に注意する必要があるが、適切な量を用いることが効果を発揮するためには大切である。

ご清聴ありがとうございました。